

科目名	災害情報工学	科目コード A3150
-----	--------	----------------

専攻名・学年	環境都市工学専攻 2 学年 (プログラム 4 学年)	担当教官	塩野計司 (環境都市)		
単位数	2 単位・選択	開講期間	前期	時間数	30 時間
				内訳 <small>(時間)</small>	講義(28), 演習(0) 実験(0), その他(2)
教科書	自作教材 (授業期間中に配布します。)				
補助教材					
参考書					

A 科目の概要	
<p>震災を主なテーマとし,風水害・雪害などにも言及しながら,災害対策を効率化・最適化するための情報の収集・処理・伝達の方法と,対策資源を整備・活用するための情報の利用法について学習します。また,防災対策を立案するための基礎調査となる被害予測を取り上げて,その位置づけ・実施方法・利用方法と,防災に関連する法律に関して学習します。</p>	
B 到達目標	
<p>次の3点について理解する:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 災害情報の種類と目的; 収集方法と伝達方法 2) 被害予測の方法 3) 日本の災害管理に関する法律と制度。 	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(D)
D 履修上の注意	
<p>授業に用いる資料は,講義の1週間まえに配布します。受講者は,配付された資料で「予習」してください。授業は,受講者の予習を前提として行います。</p>	
E 評価方法	
<p>次の3点について理解したことを筆記試験で確認し,評価する:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 災害情報の種類と目的; 収集方法と伝達方法 2) 被害予測の方法 3) 日本の災害管理に関する法律と制度。 <p>定期試験【100%】(前期中間(0),前期末(100),後期中間(0),後期末(0))、その他の試験【0%】(90分の試験を2回)、レポート【0%】、その他【0%】の割合で到達目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格点とする。</p>	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	導入：災害管理における情報の役割について概略的に解説します。	
2	地震災害と情報（1）：地震災害を対象とした災害管理における情報の役割を学習する。予防対策における問題について解説します。	
3	地震災害と情報（2）：同上。応急対策における問題を解説します。（1回目）	
4	地震災害と情報（3）：同上。応急対策における問題を解説します。（3回目）	
5	地震災害と情報（4）：同上。復旧・復興対策における問題を解説します。（4回目）	
6	風水害と情報：風水害を対象とした災害管理における情報の役割を学習します。	
7	雪害と情報：雪害を対象とした災害管理における情報の役割を学習します。	
8	災害や防災に関する話題の解説（1）：視覚教材や被害統計を用いて、最新的话题を解説します。（適当な話題がないときは、論文の解説を行います。）	
9	地震被害の予測：地震災害に関する予測情報の誘導方法と利用法について学習します。	
10	風水害・雪害の予測 風水害と雪害に関する予測情報の誘導方法と利用法について学習します。	
11	災害対策の法律（1）：日本における災害対策に関する法律を紹介します。被災者の救済を目的とした法律について解説します。（1回目）	
12	災害対策の法律（2）：同上。被災者の救済を目的とした法律について解説します。（2回目）	
13	災害対策の法律（3）：同上。施設の復旧（復旧費）の確保を目的とした法律について解説します。（3回目）	
14	試験	
15	試験問題の解説と発展的な内容の授業	